

## 特発性肺線維症 (IPF)

Nishikiori H. et al.: Respir Investig 2020; 58(5): 395-402.

日本人集団を対象に検討された計算モデルに基づいています。  
 ・結果は、特定の患者集団を対象に行われた臨床研究に基づいており、全ての患者さんに適用できるとは限りません。  
 ・治療が当モデルに与える影響については明らかになっていません。  
 ・IPF患者さんの%VCが計算に必要です。

### 修正GAP index

①～④を選択し、GAPスコア(合計点)を算出します。

予測因子	選択項目	点数
① 性別	女性	0
	男性	1
② 年齢	60歳以下	0
	61～65歳	1
	65歳超	2
③ %VC	75%超	0
	50～75%	4
	50%未満	8
④ %DLco	55%超	0
	36～55%	1
	35%以下	2
	測定不能	3

○をつけた点数の合計点を記入

GAPスコア:①～④の合計点

### GAPスコア別の死亡率

GAPスコア	ステージ	1年死亡率	2年死亡率	3年死亡率
0～3	I	8.6%	20.1%	29.3%
4～7	II	27.2%	45.6%	55.9%
8～14	III	37.6%	65.0%	82.9%

**【方法】**日本人IPF患者326例を対象として、性別、年齢、呼吸機能(%VC及び%DLco)及び観察期間での死亡を解析し、2012年にLeyらの報告したGAPモデルをもとに、各予測因子の点数及び各ステージの死亡率を検討した。

**【注意事項】**本モデルは、日本人IPF患者を対象に行われた臨床研究に基づいており、次の限界を含みます。2012年に報告されたLeyらのGAPモデルで用いられている%FVCに代わり、%VCが用いられています。どちらがより正確にIPFの予後を予測するかについてのエビデンスはありません。

## 分類不能型間質性肺疾患、膠原病に伴う間質性肺疾患、特発性非特異性間質性肺炎、慢性過敏性肺炎

Ryerson CJ. et al.: Chest 2014; 145(4): 723-728.

米国人集団を対象に検討された計算モデルに基づいています。  
 ・結果は、特定の患者集団を対象に行われた臨床研究に基づいており、全ての患者さんに適用できるとは限りません。  
 ・治療が当モデルに与える影響については明らかになっていません。  
 ・患者さんの%FVCが計算に必要です。

### オリジナル GAP index

①～⑤を選択し、GAPスコア(合計点)を算出します。

予測因子	選択項目	点数
① 疾患名	分類不能型間質性肺疾患	0
	膠原病に伴う間質性肺疾患(CTD-ILD)/特発性非特異性間質性肺炎(INSP)	-2
	慢性過敏性肺炎(CHP)	-2
② 性別	女性	0
	男性	1
③ 年齢	60歳以下	0
	61～65歳	1
	65歳超	2
④ %FVC	75%超	0
	50～75%	1
⑤ %DLco	50%未満	2
	55%超	0
	36～55%	1
	35%以下	2
	測定不能	3

○をつけた点数の合計点を記入

GAPスコア:①～⑤の合計点

### GAPスコア別の死亡率

GAPスコア	1年死亡率	2年死亡率	3年死亡率
0～1	3.1%	6.6%	10.2%
2～3	8.8%	18.0%	26.9%
4～5	18.2%	35.0%	49.2%
6～8	33.5%	58.4%	74.8%

**【方法】**IPF患者307例、CHP患者206例、CTD-ILD患者281例、INSP患者45例、分類不能型ILD患者173例を対象として、性別、年齢、呼吸機能(%FVC及び%DLco)及び観察期間での死亡を解析し、2012年にLeyらの報告したGAPモデルをもとに、各疾患・予測因子のスコア及び死亡率を検討した。

**【注意事項】**本モデルは、米国の慢性ILD患者を対象に行われた臨床研究に基づいており、次の限界を含みます。患者さんが受けた可能性のある薬物治療がGAPモデルに与える影響については明らかになっていません。臨床研究はILD専門病院でリクルートした患者さんを対象に行われたため、患者背景、治療及び転帰は、全てのILD患者さんを代表していない可能性があります。